

# アセスメントの方法

- 具体的なアセスメントの方法
- 障害特性に基づくアセスメント

# この時間で学ぶこと

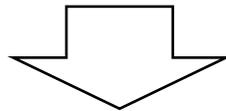
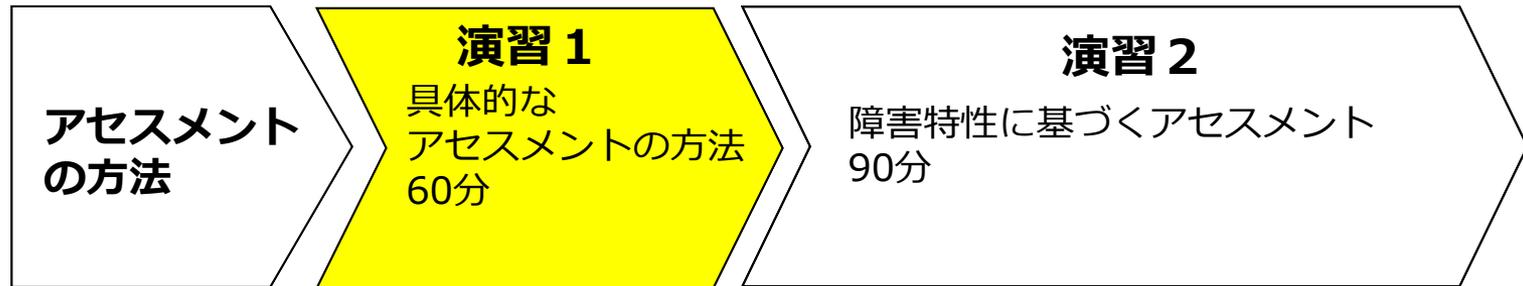
- これまで行動障害が現れやすい人たちへの支援においては、  
「障害特性に合わせた支援が必要であること」  
「支援者が統一した支援をすること」  
が大切であることを確認してきました。
- この時間では、支援者が統一した支援を実施するために必要な、障害特性に合わせた支援手順書を作成するための根拠となるアセスメントの方法について学びます。

# 演習の流れ



# アセスメントの方法

- ・ 具体的なアセスメントの方法



- i) アセスメントについて
- ii) 事例の紹介
- iii) 本人の行動を確認する

i) アセスメントについて

# アセスメント

- ・ アセスメントとは？  
「評価」や「実態把握」
- ・ 基本的なアセスメント情報  
「医学的な診断」「障害支援区分」「療育手帳」など

実際の支援には、  
支援の内容に直結  
する詳しい情報が  
必要

「フォーマルなアセスメント」  
・ 知能検査、発達検査など標準化  
された検査

「インフォーマルなアセスメント」  
・ 日常の観察やインタビューによっ  
て得られる情報



# 行動チェックシート

本人の行動を観察して具体的な行動を書き込むシート

本人の障害特性に基づく行動に着目することができたり、課題となる行動を絞り込むことができる

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	<input type="checkbox"/>	
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い	<input type="checkbox"/>	
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	<input type="checkbox"/>	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	<input type="checkbox"/>	
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	<input type="checkbox"/>	
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	<input type="checkbox"/>	
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	<input type="checkbox"/>	
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	<input type="checkbox"/>	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	<input type="checkbox"/>	
	発信が難しい	コ: 行動や仕事などで自分の気持ちを現わす	<input type="checkbox"/>	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない	<input type="checkbox"/>	
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	<input type="checkbox"/>	
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない	<input type="checkbox"/>	
		セ: やりとりが続かない	<input type="checkbox"/>	
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある	<input type="checkbox"/>	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている	<input type="checkbox"/>	
		チ: 自分から動くことができない	<input type="checkbox"/>	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い	<input type="checkbox"/>	
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い	<input type="checkbox"/>	
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い	<input type="checkbox"/>	
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	<input type="checkbox"/>	
物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	<input type="checkbox"/>		
	ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	<input type="checkbox"/>		
	ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある	<input type="checkbox"/>		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	<input type="checkbox"/>	
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	<input type="checkbox"/>	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	<input type="checkbox"/>	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある	<input type="checkbox"/>	
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある	<input type="checkbox"/>	
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>

# 特性確認シート

本人の行動について、その背景となる特性を確認するためのシート

必ずしも「課題となっている行動」だけでなく、本人の行動から隠れている特性を整理することができる

特性に対応する支援のアイデアも確認することができる

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりとりの視点・見え方の視点)
		8) 一度にたくさんのかことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	E) 本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やりとりの視点・見え方の視点)
		11) どのようにして伝えたらよいか分からない	
		12) 誰に伝えてよいか分からない	
やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする(やりとりの視点・見え方の視点)	
	14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
	15) やりとりの量が多いと処理が難しい		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする(時間の視点・場所の視点)
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点)	
	23) 細部が気になり違いに敏感		
	24) 少しの違いで大きな不安を感じる		
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点) L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

# 特性確認シートA3版 (参考資料)



特性確認シートA3版

差込資料

		例	本人の具体的な行動	背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	視線が合わない 人との関わりが一方的であることが多い 二人でいることを好む 人が多いとこころや騒がしいところで落ち着かなくなる 集団での活動や遊びに入りたがらない 人と関わることに不安が大きい 周囲にどのように見られているか興味がない 相手の気持ちに関係なく行動する		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 相手への関心が薄い</li> <li>□ 相手から期待されることを理解することが難しい</li> <li>□ 人と関わることに不安が大きい</li> <li>□ 相手の立場や気持ちをとらえられない</li> <li>□ 周囲で起こっていることへの関心が薄い</li> <li>□ 人の多いところが苦手である</li> <li>□ 複数の人といっしょに活動することが苦手である</li> <li>□ 周囲から期待される行動を理解することが苦手である</li> <li>□ 他者に求められていることと自分に求められていることの区別が難しい</li> <li>□ 待つことが苦手である</li> <li>□ 独特の見方や考え方があり、提示された方法を取り入れにくい</li> <li>□ 手がかりが変わるとわからなくなり、応用が難しい</li> <li>□ 文字や数などの理解が難しい</li> <li>□ 相手と同じものを見て共感することが少ない</li> <li>□ ひどい活動への集中を持続することが難しい</li> <li>□ いつまでどのくらいやるのか、終わりの理解が難しい</li> <li>□ どこを見たいか、どこで活動したいかわからない</li> <li>□ 見える範囲が狭い（目に入っていないところがある）</li> <li>□ 別のところに視点を移すことが難しい</li> <li>□ 周囲の刺激や情報に引っ張られやすい</li> <li>□ 見えないものの理解が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 自分と周囲との関係や感情などを見る形で伝える</li> <li>□ 汲み取ってもらい、察してもらうのではなく、具体的に伝える。</li> <li>□ 誰にどう伝えたいかを具体的に伝える。</li> <li>□ 自分の心と体を休められる場所を用意する</li> <li>□ 「いつ」「どこ」「何を」の情報を見てわかるように伝える</li> <li>□ 着目すべき場所を強調する</li> <li>□ 一つの場所を多目的に使わないようにする</li> <li>□ 「どうやって」「どうなったら終わる」「次に何をやる」をわかるように工夫する</li> <li>□ 困ったときに誰にどう伝えたいかを具体的に伝える</li> <li>□ 環境を整え、周囲の刺激や情報を少なくする</li> <li>□ 活動の量やシグナルなどの工夫をする</li> <li>□ 椅子や材料などの配置を工夫する</li> </ul>
	状況の理解が難しい	年齢に相応しい興味や遊びが見られない 周囲に合わせて行動できない 周りの目を気にしない言動や行動が多い 身勝手な態度に見える行動が多い 周囲の状況に対して興味を示さない 活動への参加に拒否が強い 順番を待てない 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する			
コミュニケーション	理解が難しい	言葉で指示を出しても行動できない 決まった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからない 言葉の理解が部分的で全体をつかむことができない 言葉で指示されたことと違うことをする 相手の表情や視線等に反応が少ない 相手の特定の表情や視線等に極端な反応を見せる 言葉の量が多いと理解できない 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア） 言葉に対して自分なりの解釈をする 「ちょっと」「ゆくり」「はい」などの曖昧な表現が理解できない		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 話し言葉の理解が難しい</li> <li>□ 一度にたくさんのことを理解するのが難しい</li> <li>□ 抽象的であいまいな表現の理解が難しい</li> <li>□ 言葉処理するのに時間がかかる</li> <li>□ 相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい</li> <li>□ 相手の表情や視線、声質などから意図をとらえることが苦手である</li> <li>□ 相手の表情で伝えることが難しい</li> <li>□ どのようにして伝えたいかわからない</li> <li>□ 誰に伝えていいかわからない</li> <li>□ 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい</li> <li>□ 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい</li> <li>□ やりとり量が多いと処理が難しい</li> <li>□ やりとりをする自体の意味がわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）</li> <li>□ 伝える量に配慮する</li> <li>□ 伝える速さに配慮する</li> <li>□ 理解できるまで待つ</li> <li>□ やりとりしやすい環境を作る</li> <li>□ 本人が発信しやすいツールを提供する（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）</li> <li>□ だれに、どうやって伝えるか具体的に示す</li> <li>□ 忘れたときに思い出すための工夫を用意する</li> <li>□ 視覚的なツールでやりとりができるようにする</li> <li>□ 本人の処理速度に合わせて会議場の設定をする</li> </ul>
	発信が難しい	行動や仕草などで自分の気持ちを現わす 言葉で自分の気持ちを伝えることができない アイコンやアームの首振り姿勢 独特な言い回し、気持ちを伝える 言葉の特定の機能だけしか使えない（要求のみ、あいさつのみ） 返事が相手の言葉を繰り返したくなることが多い（エコーリア） この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い 文法が使えない（単語、一語文等） 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない 指さしや相手の手を取って（クレーン）要求を伝えようとする			
	やりとりが難しい	やりとりが合わない やりとりが線がない 唐突に話し始める、黙り込むことがある 自分が知っていることば相手も知っていると言う前提で話すことがある 理解と発信のアンバランスが大きい			
想像力	自分で予定を立てることが難しい	やるべきことがときにワロワロしている、しっどしている やるべきことがときに、問題となる行動が出ることが多い 自分から動くことができない いつも周囲に合わせて行動している 自分がやりたいことに執着する 予定の変更にも混乱することが多い		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 見通しが持てないことに不安を感じる</li> <li>□ 段取りを適切に組むことが難しい</li> <li>□ などとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい</li> <li>□ 今やることを自分で判断することが難しい</li> <li>□ 優先順位をつけることが難しい</li> <li>□ 初めての場合に苦手である</li> <li>□ 先の予測をすることが難しい</li> <li>□ 臨機応変に判断することが難しい</li> <li>□ 自分のやり方から抜け出すことが難しい</li> <li>□ 興味味が強く強い</li> <li>□ 細部が気になり通りに敏感</li> <li>□ 少しの違いで大きな不安を感じる</li> <li>□ 情報の多いものの処理が苦手である</li> <li>□ 複数の情報を同時に処理することが苦手である</li> <li>□ 今あるいはさぎょうのことをすぐに忘れてしまう</li> <li>□ 過去のできごとが忘れられない</li> <li>□ 部分的な処理が強く全体の理解が苦手である</li> <li>□ ものものの関連性をとらえにくい</li> <li>□ 見えないものの理解が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 本人に分かりやすく予定や変更を伝える</li> <li>□ 始まりや終わりが分かりやすいようにする</li> <li>□ 変更の伝え方を統一する</li> <li>□ 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする</li> <li>□ 本人の興味関心に合わせて提示（ごほうびの活用）を行う</li> <li>□ 活動に興味や目的をもたせる工夫をする</li> <li>□ 最初から正しい方法で行うことができるようにする</li> <li>□ 変わらないものは音質化する（ルーティンを活かす）</li> </ul>
	変化への対応が困難	自分のルールを変えるに混乱することが多い 自分の考えや行動が混乱することが多い 担当者が変更されると持てなすことが多い 活動や食事等の場所が変わると混乱することが多い 新しい場面や活動のときに混乱することが多い 活動を途中でやめたり、変更することができない			
感覚	物の一部に対する強い興味	特定の物などへのこだわりや執着がある 自分の興味があるもの以外に関心を示すことが少ない 細かいことが気になって活動が途中で止まることがある 細かいことが気になってやるべきことができないことがある 相手を無視しているような反応を示すことがある 気になる物があると急に走り出すことがある		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 聴覚の過敏や鈍感がある</li> <li>□ 視覚の過敏や鈍感がある</li> <li>□ 触覚の過敏や鈍感がある</li> <li>□ 嗅覚の過敏や鈍感がある</li> <li>□ 味覚の過敏や鈍感がある</li> <li>□ 前庭覚の特有の感覚がある</li> <li>□ 体温調整が苦手、気圧の変化に弱い</li> <li>□ 身体をバランスよく動かすことが難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 苦手な刺激を少なくするための配慮をする</li> <li>□ 好きな刺激、必要な刺激は保障する</li> <li>□ 他刺激で代用をするなど、強く危険な刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる</li> <li>□ ストレスレベルに配慮する</li> <li>□ 避難場所の確保を行う</li> <li>□ 安全に配慮する</li> </ul>
	感覚が敏感または鈍感	目を覆く、特定の音を嫌がる、怒がる、特定の音を大音量にする、など 腕を、眼を閉じる、キョキキョに泣くなど、など 同じ素材の服しか着たがらない、爪切り、歯磨き、などに拒絶する、など 新しい食べ、刺激の強い味を好む、回し、おのほり食べる、など 特定の臭いを好む、特定の臭いを嫌う、など クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、など 気温や気圧への変化に敏感、など 体の使い方が不器用、など 特定の感振に没頭する、極端に嫌がる、感じていないような行動がある			

# 環境確認シート

本人の特性と合っていない  
環境を確認するためのシート

支援する人や、さまざまな刺激・情報など見落としがちな環境の項目を振り返ることができる

環境確認シート

差込資料⑤

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていきますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものです	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものです	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

# 強み(ストレングス)確認シート

本人の得意なこと、できることなどを確認するためのシート

具体的な支援を組み立てるときにヒントとなる

強み(ストレングス)確認シート

差込資料⑥

本人の強み(ストレングス)	活かせそうな場面や状況
<b>わかること・できること</b> 例) なくなったら 終わり、ペットボトルのふたを 開ける ハサミを使うのが上手 など	
<b>好きなこと(遊び方、過ごし方、キャラクターなど)</b> <b>やりたがること</b> 例) ハンモックで 揺れる ○○のキャラクター ピッタリはまる色を合わせる	
<b>得意なこと(これには助けられているなど) 見方を変えれば得意かもしれないこと</b> 例) 目的がわかれば 待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる	
<b>その他</b>	

## ii ) 事例の紹介

名前：田中正則（たなかまさのり）さん(仮名)

年齢：32歳 性別：男性

診断名：自閉スペクトラム症 重度知的障害 IQ:30

利用しているサービス：共同生活援助・生活介護・  
行動援護

## IQについて振り返りましょう

軽度	IQ 50-69
成人期においてその精神年齢は概ね9歳から12歳相当	
中度	IQ35-49
成人期においてその精神年齢は概ね6歳から9歳相当	
重度	IQ20-34
成人期においてその精神年齢は概ね3歳から6歳相当	
最重度	IQ 20未満
成人期においてその精神年齢は概ね3歳未満	

※軽度、中度、重度、最重度の区分はICD-10による。

田中さんは、グループホームに住む重度知的障害を伴う、自閉スペクトラム症の男性です。

平日はグループホームから生活介護事業所に通い、休日は、ときどき行動援護でヘルパーさんと外出しています。

田中さんの普段の行動には、様々な自閉スペクトラム症の特性が現れています。

※「田中さんの基本情報」参照

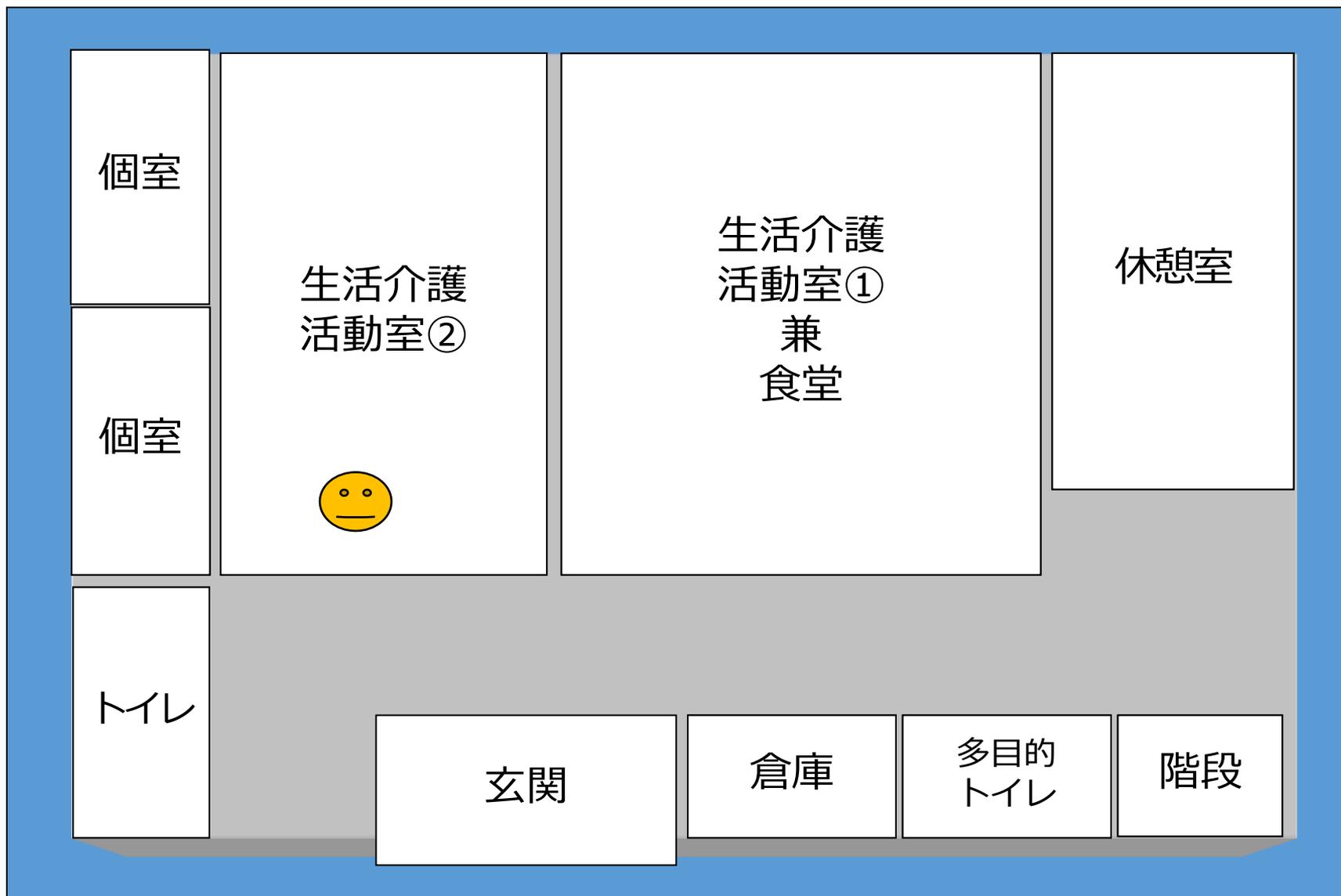
# 田中さんの活動場面

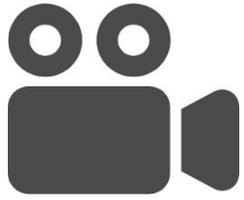
ある平日の午前中の生活介護事業所での様子です。  
作業をやることになっていますが、田中さんは午後からのお出かけのことが気になっています。

担当している職員は、田中さんに作業をしてもらうために、懸命に声をかけて作業をするように促しています。

しかし、田中さんはお出かけのことが気になり、作業どころではないようです・・・。

# 生活介護事業所の中の配置図





# 動画の視聴